

10. 熊本県阿蘇市 申請資料抜粋

<p>地域のプロジェクト名</p>	<p>阿蘇アドベンチャーワールド創造事業</p>
<p>申請者(地方自治体名・団体・企業名など)</p>	<p>阿蘇市(阿蘇カルデラツーリズム推進協議会)</p>
<p>1. ご当地・施設の特徴</p>	<p><火山活動で生まれた自然資源></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界最大級のカルデラを有する阿蘇。カルデラの中に人が暮らし、街が形成されているのは世界で阿蘇だけ。 ・日本一の草原を有し、千年を超える草原文化がある。 ・九州6河川(一級河川)の源流の地であり、九州の水がめと称される清く美しい環境及び景観を持つ。 <p><火山と共に生きるために生まれた文化・歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活発な活動を数万年続ける阿蘇山の麓では、火山の鎮静を祈る神事が多数あり、特に火口近くでは古くから火山信仰・山岳信仰が盛んであった。証として、約1,300年の歴史がある西巖殿寺奥の院、2,000年を超える阿蘇山上阿蘇神社が火口近くに鎮座し、現在も多くの参拝がある。 ・阿蘇山は、オンダケサンマイリの目的地として、「縁結び」のご利益を求める参拝が多い。 <p><火山地形や歴史文化を活かした産業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルデラ内は、湧水と肥沃な大地に恵まれ、広大な草原での畜産など農業が盛ん。九州の軽井沢と称され、観光業も盛ん。近年、体験型観光を進め、若者やインバウンドの誘客を図っている。 ・熊本地震では多くの財産に大きな被害を受けた。なかでも大動脈の国道と鉄道が崩落し、その復旧に4年半かかり、その間に若者の流出、事業所の移転、観光客の減少など、まちの衰退を招いている。 ・現在、交通インフラが整ったが、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、目立った効果に繋がっていない。
<p>2. 地方創生に結びつく活動目標・目的などについて</p>	<p>阿蘇の自然や歴史・文化は類がなく、まさにアドベンチャー(驚きと感動)。それは、ワクワク感が止まらない恋の高揚と似る。そうした「ハートを動かす」体験の創造により、地域活性化を目指す。</p> <p><活動目的・目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界でも稀な自然環境を持つ阿蘇。そのワンダーな大地が恋人の聖地の舞台である。素材の豊富さを武器に特別感あるアクティビティや、エナジーマな山岳信仰・民俗文化などの体験コンテンツを造成し、若者に惹かれるまち、また若者の活躍の場を創出する。熊本地震により減少した観光客や転出が相次いだ若者人口を5年間で回復させたい。 2. SNS社会が加速する中、さらに需要が高まるデジタル化によるMaaSなどのスマート観光やサスティナビリティ、新しい

	<p>生活様式に対応していくため、あえて難しい若者市場に挑み、受け皿の底上げを図る。</p>
<p>3. 地方創生に結びつく活動・実績などについて</p>	<p>熊本地震からの復興を目指し、地元にとってもやる気が出て、分かりやすい「恋人の聖地プロジェクト」に取り組むこととした。</p> <p>1. 恋人の聖地「山ガールサミット」の開催 登山のメッカ「阿蘇山」は、霊山・オンダケサンマイリ（縁結び）等の観点からも楽しめることもアピールし、恋人の聖地で女性を対象にしたトレッキングを開催。コロナ禍でも募集と同時に即定員に達した。恋人の聖地特製お弁当や巻物型のパンフレットを作成。</p> <p>2. 神楽男子プロモーション ・若者たちが毎週土曜日の夜は神楽芸能の練習…。過疎化で伝統の継承も困難な集落にそんな若者たちの姿がある。小学1年生から練習を続け全員野球状態。しかし、鍛錬した肉体と容姿はお面の裏だけではもったいない。イケメン神楽男子8名にスポットを当て、女性のファンを集落に呼び、地元の若者との縁結びにも繋げたい。</p> <p>3. 阿蘇キャンドルナイト ・阿蘇市内のキャンドルの作家さんが描いておられた「森をキャンドルでいっぱいにしてみたい！」を、地元や観光関係者で実現。神秘的なイベントは的中し、カップルであふれ、経済効果をもたらした。</p> <p>4. 恋人たちのイルミネーション ・阿蘇ならではのプロポーズにふさわしい場所・機会の創出によるプロモーション。週末は、プロジェクションマッピングも取り入れ、商店街や観光施設もこれに合わせたサービスやイベントを行う。次年度に続くストーリーも地元商店街と描き、オフシーズンの冬にも経済効果を生む若者の活躍の場（仕事の創出）とする。</p>

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)



(説明文)

第1回山ガールサミットの様子。恋人の聖地、西巖殿寺奥之院で祈願して約70人がスタート。恋が叶ったら次は彼氏と来てね！とアピール。



(説明文)

ガールズ向けお弁当の開発。山岳信仰を若者向けに記した巻物式パンフレットの作成。山を下るだけの女性向けパノラマサイクルやスイーツ巡りが出来る「たべコギ」の開発、販売。



(説明文)

阿蘇でのウェディングプロモーションの実施。日頃は立ち入れない絶景ポイントでの前撮りを前提とした旅の造成。衣装レンタルや阿蘇神社での正式参拝、人力車などがセット。



(説明文)

アドベンチャーな遊びの創出！新開発のアドベンチャートラック(写真)。夜の草原での乗馬。星空と夜景のツアー。雲海ツアーをカップル向けに造成。ガイトの育成を行い仕事の創出に貢献。



(説明文)

地域や商店街、観光業などを巻き込んだ初開催の阿蘇キャンドルナイト。期間中、約7,000名もの恋人たちが足を運び続けた。今年は、連動し、恋人たちのイルミネーションも実施する。

(説明文)

恋人の聖地プロジェクトに向けたワークショップの様子。熊本地震からの復興の起爆剤にするため、人口減が著しい地区や商店街等でボトムアップ型による話し合いを行い、機運を高めている。